

事務事業 No./名 称	■サービス部門 生涯-08 各種スポーツ行事事業				ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門				200	各種スポーツ行事事業	
主管課	スポーツ課 関連課						
分野名	スポーツ・レクリエーション						
目標 (目標値)	スポーツ活動の普及を図ります。スポーツ行事事業の推進を図ります。 市民のスポーツ実施率を60%にする。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	人 口	176,669人	176,484人				
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状 況	決算値	10,802千円	10,972千円		指標と評価		
	(国・県)				指標	委託料	
	(負担金等)				評価	◎	
	(一般財源)	10,802千円	10,972千円		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人員配置数	1.2人	1.4人		目標値	実績値	
	人件費	10,730千円	12,203千円		20年度	9,000,000	8,853,210
	協働の パートナー				21年度	9,000,000	8,639,710
事務事業 運営経費	総事業費	21,532千円	23,175千円		22年度	9,000,000	
	市民1人当 りの経費	122円	131円		23年度	9,000,000	
	対象者1人 当りの経費				最終年度 (年度)	9,000,000	
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名						
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 地域で気軽に楽しめる自主的なスポーツ・レクリエーション活動の推進。					
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 各地区スポーツ振興会による市民運動会、ラジオ体操、各種スポーツ行事の実施。 総合型地域スポーツクラブの設立支援。 スポーツ課職員や登録リーダーによる自治・町内会へ出向いたスポーツ教室の開催。					
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 地域で行う高齢者を対象にした健康体操等は、他のセクションでも同様な内容の事業を展開しており、年々派遣する講師の確保が難しくなっている。					
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 講師の派遣や確保に関して、他のセクションとも調整を図りながら出前教室によるスポーツ実施率の向上を図る。 講師の養成・育成に努めるとともに、登録リーダーの資質向上に向けセミナーの開催を積極的に周知・実施していく。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	様々なイベント、教室等を行っているが、十分な提供にはなっていない。各協会や体育指導委員、地区スポーツ振興会など地域との連携を図りながら、今後とも、市民のスポーツ実施率の向上を目指していく。		評価結果	改善の必要性	スポーツが与える様々な効果を考え、市民のスポーツ活動の普及を図るため事業の充実を図る。	
A	有			A	有		
課長名		小池 忠紀		部名・部長名		生涯学習部長 植松 芳子	